

THE ASAHI WEEKLY EDITION

# 週刊朝日

第二十號

第二十卷

昭和二年九月十一日發行  
(通卷第三百十一號)

大正十一年二月二十五日  
第三種郵便物認可



海女

の研究

醫學博士 暉峻 義等

秋立つ頃

徳田 秋聲

小品

日曜日發行

定價一部二十錢

秋 日 曜



昭和二年九月十一日發行  
目次

裏面 上海の極東大會、ロシヤ  
機岡山着、美保ケ關沖の殉  
難將卒の合同葬儀、二科入  
選の關紫蘭女史、アメリカ  
へ行く市松人形

鞍馬天狗餘燼……………大佛次郎……三  
『海女』の研究……………荻谷深皀繪……三  
地方色……………暉峻義等……六

豆酸の女……………八  
行燈の話……………橡内 吉胤…二六

東蒙の巡回診療……………三  
秋立つ頃……………徳田秋聲……………九

デ盃庭球試合……………榮 壽 王……………  
 田家 根魚……………

モデル料一時間……幽水生……二

新興ブロレタリヤ文藝

その糖類……………山内 房吉……三  
黒い眼鏡【小説】……里村 欣二……三

生活に於ける雑感……………前田河廣一郎…二五

未明小川先生の點描……………松村善壽郎……………六

大阪洋畫協會……………二七  
駕籠【映畫解說】……………二八

フアンの喜ぶ映畫・壽本 映亞・一九  
唐手術の話……………佐々木朝麿・二〇

秋野菜の作り方……吉澤 良恭……  
あんとく物語……長谷川告三……

文壇噂ばなし……………三

育兒懇談……………三五

朝野二黨の……永川 俊美……三

そこはくの言………  
 辭職したセシル卿……岡本 鶴松……

内外日誌……………二九  
 雜誌月評……………三〇

黄金の河〔童話〕……霜田静志  
古家新繪……三

今秋の流行……………三

布衣落語……………川瀨巴水繪

圍碁その折々……久保松勝喜代……  
實戦詰將其所置……反日名人……

勝繼聯珠……………森咄牛……………

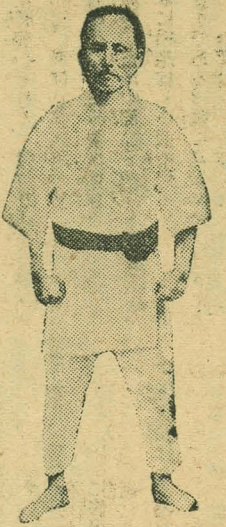
——注意——  
「週刊朝日」に對する

問合せは必ず往復はがきの事(返信面に宛

名計入の事、及び寄書等も必ず「返す朝臣」宛記入されたし、返稿は致しません。

い。あの憎らしい三吉が、出委せの嘘をいつて、あたしを騙してくれたのだ





人 達 の 手 唐  
氏 珍 義 腰 名 富

# 琉球唐手術の話

佐々木 彰 磨

## 琉球人の喧嘩

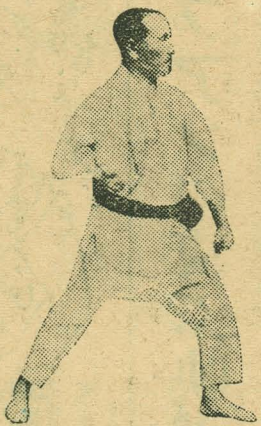
何日であつたか少し前の話であるが東京の某新聞に「琉球人三朝鮮人の喧嘩」といふ見出しの三篇記事があつた。私はその記事の内容を讀まないうちに「ハハこれは琉球人が勝つたに違ひない」と感心したところであつた。讀んで見ると、横濱で琉球人三朝鮮人各数名が酒の上から入亂れて喧嘩を始めた、朝鮮人は双刀を持つてゐたのに琉球人が身に寸鐵も持たず僅己の拳でしかも散々に相手を負傷させたといふことであつた。私は之をある意味で「た。何となれば琉球には恐ろしい武術神祕的武術唐手術」といふのがあつた。知つてゐたからである。

琉球人總てが此の唐手術を體得してゐるといふ譯ではないが先天的に唐手術のコツを知つてゐる者が多いからである、私は今この琉球名物の武術唐手術（二種の拳闘術）について少し述べて見たいと思ふ。

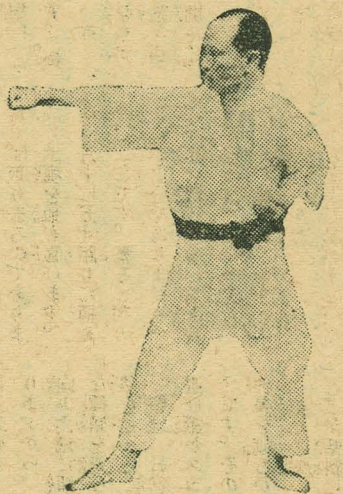
私は今、唐手術を一種の拳闘術といつたが歐米の拳闘術とは又趣を異にしてゐる。歐米の拳闘術は最近我國においても一般競技と共に盛んに勃興し來り去る六月には學生拳闘聯盟を中心にして日本拳闘協會まで組織せられたことであつた。又我國では去る七月二十一日ニューヨークのヤンキース・スタヂウムにおいて、前の世界拳闘選手權保持者デムブシーと新選手ジャック・シンヤキーとの間に試合が行はれるといふ外國電報はその當時日本青年の血を湧かしたところであつた。

しかも抱合つて相撲することを禁じてあるが、唐手術には、そんな制限はない。拳脚共に使用し、拳はつき、脚は蹴る。この二つが普通の攻撃法でしかも攻撃を加へる箇所が、主に胸部や腰や腎臓部または顔面でも鼻、頬、眼、顎など何れも人間の急所ばかりである。それに捻倒し、谷落し、楯玉、頭環、咽喉へなごいふ柔道にあるやうな投げ落しもあるのだからますます危険である。

かくの如く歐米の拳闘術が盛んに持たれてゐるのに、我國においてしかも二百年も前から立派な拳闘術唐手術が行はれてゐるといふ事を恐らく日本人でありながら知らない人が多いだらうと思ふ。知らないのも無理はない、九州より遠南方の交通不便な一孤島琉球においてのみ行はれてゐたからである。が今やこの唐手術が東京においても盛んに知られる機運が到來したその事については後に述べることにしよう。

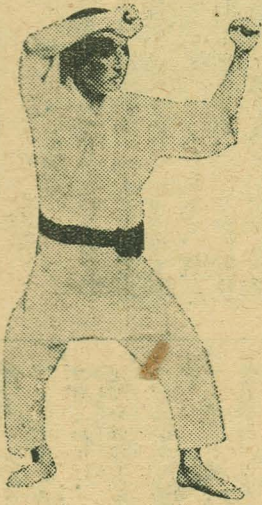


敵を腹下や丸臍が蹴  
左をろここた來てつ  
が手右めこけ受で手  
ひてしを意用の撃攻



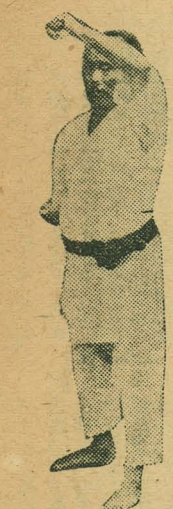
こけ受で手右を撃攻の敵  
は腹を敵が手の左や今め  
るひてしこん

の如く競技的に興行的に、唐手術の試合を公衆の面前で見るべき性質のものではない。唐手術も漸次研究の歩を進め



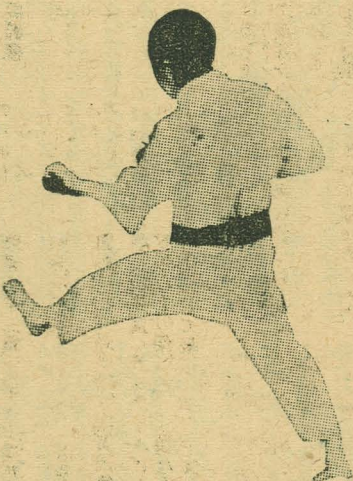
へ 構 の 手 唐

て、防具を附け急所を禁じてやるやうになれば試合も出来るだらうが今のところ困難だらうと思ふ。今までもしばしば柔道と唐手術の試合をさせやうと試みた事があつたが何れも危険を慮かつて中止となつたが、柔道にしても歐米の拳闘よりも唐手術の取組の方が困難だらう。



敵から顔面の攻撃を受けたのを左手で受け止め右手は攻撃の用意をしてゐる。

唐手術の型をやつてゐるところを見る。唐手術の型は、筋骨が



同るこけ受で手左を撃攻の敵  
の丸臍の敵に乘に際の際に時  
は拳の左ほ向る敵をりたあ  
るへ構に撃攻

る。唐手術の型をやつてゐるところを見る。唐手術の型は、筋骨が

ねたま、拳で衝いても、美事に四枚共打割つた話もある。

かういふ風だから琉球の手拳を二つ見舞はれたが最後は免れないだらう唐手術の攻撃を受けて身體の表面に傷は

妙技を發揮する人が幾らでもある。例へば坐つたまゝ、腰上つて天井を蹴るか、牛肉を掴み切るか、青竹を握り割るか、五分厚の板を五、六枚重ねて拳で打割るか、梁を掴み渡るか三角飛び（これは三角形の第一頂點から第二頂點に飛び、第二頂點に足を着けずそのまゝ方向を變へて第三頂點まで飛び来る方法）とか昔の武者修業の豪傑談にありさうな事である。

## 唐手術の來歴

一體この琉球の武術唐手術は何時の時代に出來たものか。唐手術は文字の示す如く唐は昔の支那の事で、これから見ても支那から傳來の武術だらうといふ

## 立派な護身術

現今沖縄の中等學校では唐手術を課目に加へて教へてゐるが、學校では單に唐手術の型のみを教へて、實用向きものには教へてゐない。さうして唐手術を學校で教へるやうになつたがさういふことには面白くない話がある。それは、全體唐手術といふものは昔から各師匠が自分の流儀の秘密を餘り他

## 卷 圖

七尺で距上四尺五寸、地下二尺五寸、幅三寸、厚さ上端五分、下端二寸五分、突く度に彈力ある様出來てゐる。

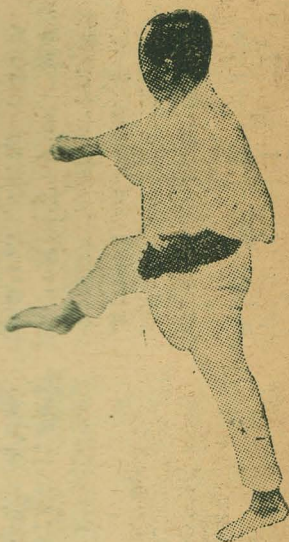


の鍛錬法には種々雑多の方法がある。砂袋を胸の高さに懸んで之に五指を捕へたまゝ突入する刺殺法、握る力を練るために太い青竹を指で割る稽古、左右前後の敵に対する攻守法、劍槍に對する應手法、棒の使い方その他全身筋力肉殊に胸部、下腹部、背部の筋力の抵抗力の修練法など数ふれば違はないことである。

かくして熟達すれば普通の人は一寸信じられないやうな人間離れのした

人に知らせたくないために極めて秘密にその弟子達に教へられてゐたのであるが、明治三十四、五年のころ、壯士の體格検査の時、特に秀拔たる體格の青年についてその原因を調べたところそれが唐手術で鍛へられたものなる事が





の右をろこきた来てつ打の敵  
左り蹴で足に共るけ受で手  
書を敵てめ固を拳に正は手の  
るゐてし意用さんか

唐手、最近、東京の各中学校で練習  
されて、盛に盛んなるやうになつたのであ  
る。

唐手を一年も習へば、全然格闘を  
要するばかりでなく、短日月の練習  
でも一見普通人と識別し得る位に顯著  
なる効果を擧げるのである。これで見  
ても唐手術は立派な護身術であるばか  
りでなく、體育上からも非常なる價值  
あるものと云ふことが出来る。

琉球最近の道人の達人といはれた緒  
洲翁が八十六歳、安里翁が八十一歳、  
山口、知念兩翁が八十六歳、知花、崎  
原兩翁が八十歳、喜友名翁が七十五歳  
さへ、風にも何れも高齡でありながらな  
ほかくいやくして壯者を凌ぐ元氣で  
二十人位では動かせないほどの達人で  
あつたといふ、かくの如く長齡を保つ  
てゐるのも確かに唐手で鍛へたお蔭で  
ありといふ思はれる。

〇唐も天寶を賜ふ  
唐も、今上陛下未だ東宮に在らせ  
しころ、大正十年三月海外御巡遊の途  
中、第一寄港地として琉球に御立寄の  
際、琉球名物の唐手を台覧に供し、い  
たく御感服遊ばされたこと、承る。ま  
た秩父宮殿下にも御渡英の際、琉球に  
御立寄遊ばされ、この唐手を御覽遊ば  
された。琉球の唐手は重ねの光榮  
に浴した譯である。

その他出羽海軍大將や故上村彦之丞  
大將等がそれ、第一艦隊司令官長時  
代に、或は八代大將が第二艦隊司令官  
官時代に、海軍要務區域たる琉球の中  
城灣に寄港の際、唐手を見學し、海  
軍に相應はしい武術だと思つた、へた  
さうである。殊に八代大將は唐手に對  
する理解深く、軍艦碇泊中、わざと  
水兵の幾分隊かを毎朝中學校に派遣し

て唐手の稽古をさせた位であつた。か  
くの如く琉球に珍客の訪問ある毎に  
必ず名物の唐手を紹介してゐるが、何  
れもその男性的なのに感服するらしい  
。

〇今や東都へ乗出す  
漢那海軍少將が扶桑艦長時代に、唐  
手が軍人にも必要な武術たるを認め  
寫眞まで添へてその筋へ意見書を呈出  
し、海軍軍人に之が普及をはかつた事  
があるが、血氣の青年が酒でも飲んで  
之を惡用したら危いからといふ理由で  
却下されたといふが、そんな心配は  
毫もないと思ふ。世間往々唐手の  
何物たるかを知らずして、あの武術は  
最古、原始時代のもので、安んずる  
下す人もあるが、暴言もまた甚だし  
い。唐手位文明の君子の武術はないこ  
と思ふ。種々の武器携帯を許されな  
い、徒手空拳で身を護り敵を殲く事  
出来るかやうに便利な武術が又ある  
だらうか、殊に婦人の貞操問題の矢  
矢しい今日、婦女が稽古しても立派な  
護身用になるだらうと思ふ。

さて最後に今やこの唐手術が南方の  
一孤島から花の東京へ乗出す機運が廻  
つて來た。日本武術の二大研究家とい  
はれる、講道館においては嘉納治五郎  
先生が非常に唐手に理解があり、陸軍  
戸山學校においては既に唐手を教授し  
てゐる有様である。なほ又、東京帝國  
大學及び慶應大學においても唐手の建  
人富名義典氏が有志の學生に教へて  
ゐる。先日わざと帝大の道場に赴き  
その稽古振りを見たが數十人の帝大生  
が何れも熱心に修得してゐた。  
富名義典氏の話によると婦人の弟子も  
一人あるといふ事だが、男子は勿論、  
婦人の方でもこの唐手術を稽古して身  
體を練り、身を護る方法を諳じたらよ  
いだらうと思ふ。(をばり)

# 秋野菜の作り方

京都府立植物園

吉 津 良 恭

「秋過ぎて宵闇くらし蟲の聲」いふ  
歌があります。立秋も過ぎ、蟲の聲が  
一層やかた。秋の氣分が一日一日濃厚  
の度を加へて參る情趣を詠んだのであり  
ます。空地を花のために利用してをら  
れた人は、野菜作りに熱心なるやう  
になります。少くも野菜作りは娛樂  
實利が伴ふからであります。

野菜では秋時にして早いものは十月  
から年内までに夫々收穫を見るので實  
用的である意味から非常に家庭の庖厨  
を賑はかし、主婦からは重寶がられて  
愉快なものでもあります。その上に子供  
達と一緒に採取する樂しみはまた格別  
の園樂が如くは想像もつかない快  
い運動を兼ねるはるのであります。

また、秋の草花作りは生長が速い  
のに入に素人の方でも容易に育ち、た  
さへ丈夫な種類であつても、遠く野菜  
のそれと比べ物にはならないのです。  
秋時野菜は寒さにも至つて強く、蟲も  
つかず、何んな初心の方でも驚かしな  
い少しの心得だけで、楽しい園樂を作  
る事が容易に出来るのであります。今  
左に家庭向に作られる主なる有用種を  
挙げて栽培上の要點を併せてお話しし  
ておきます。

大根類——實用根を利用するので  
から、最も丁寧に栽培することが必要  
であります。有徳質の腐熟したもの、  
灰などを撒き施しておく事です。時  
時しては美濃早生は八月上旬から随  
時時かてよく、小さな菜園の場合で  
は、少し短時で収穫し、直ぐ追時  
する方がよろしい。一時に澤山収穫し  
ても無駄になりませうから。また一種  
よりも數種作るに採收期がかはるため  
に利用の上から長期にわたつてその都  
度役立つ便利がありますから家庭向では  
量よりも種類を澤山作られることをお  
薦め致します。

葉青——最も良質なものを得よう  
とするならば、必ず初秋に蒔くのです  
が別表の種類から適宜選定されるのも  
白いでせう。用途が擴げただけに菜園  
は厭々事の出来ない種類であります。

シユンギク——蒔草に準じて作  
つてよろしい。  
馬鈴薯——種薯は餘り小さく割ら  
ないことです。追肥よりは基肥に重きを  
おき木灰、鶏糞、腐った糞などを多分  
に施し、花が付けば取り去るのであり  
ます。軟く深い土壌を最も喜びます。  
蒔——苗は十月中に五寸距りに植  
る数も少く實のりが十分であります。  
開花と同時に切葉、切葉を敷いて果實  
に泥の附着を防ぎます。實の出来ない  
原因の多くは人尿の様な肥料をやり過  
ぎたか日當り、風通しの悪い、粘土質  
の畑に限つてゐるやうであります。蒔  
は生育期が餘り長いので實用的なもの

種類 品種  
大根 美濃早生  
同 晩生練馬  
同 宮重  
同 聖護院  
同 天王寺  
同 伊豫鉋  
同 近江  
同 彩色無  
葉菜類  
同 開城白菜  
同 抱頭白菜  
同 高體菜  
同 水生菜  
同 九條住  
同 蕪菁草  
同 圓形種  
同 實碗豆  
同 夾碗豆  
同 於多福  
同 豆  
同 シユンギク  
同 馬鈴薯  
同 ホワイアント  
同 レフアント  
同 大正  
同 德利  
同 丸利

播種してより二ヶ月で採取し得るもので細長種で  
漬物用  
長形の細尻、葉は濃綠色、澤度濃  
根身太短く先丸し煮物、切干用  
根節は球形大型、千枚漬大根として知らる  
線種種の太いもので尻細甘味に富み煮食用  
中形種で球形に近く練馬、三枚酢に良し  
丸大型純白の良種、千枚漬として貴ばる  
形小さく根節扁平にして鮮紅色漬物用  
扁平大圓種、肉質緻密柔軟煮るに味あり  
扁平大圓種、肉質緻密柔軟煮るに味あり  
赤條あり美觀  
葉生にして葉色最も濃く中形結球する  
葉皺甚だしく圓筒状に結球する良種  
結球肥大、先端少し太し煮食、漬物兩用  
シヤクシナミ種とするの漬物専用  
多肉の大葉早春の煮物、漬物用として貴せらる  
種太く二貫目を越える事あり深き畝刻を持ち煮食  
用にも適す  
前者の葉生、晩生で株張小、細長き子形畝刻なし  
肥大伸長力強く軟化部純白品質良、柔軟美味  
株張り良し生育中先端折れる性質あるも品質最良  
葉は圓く又は長圓形の濃綠色、葉柄短し  
葉生に蔓性あるも蔓性良し  
絹夾しといふの蔓の走りとして貴美せられる  
中生葉産葉葉葉五尺に達す、砂糖煮用として  
貴ばる  
早生にて十二月中旬より採取する形普通種と同じ  
播種後二、三ヶ月で採取し得る煮物、シヤクシナミ  
米國産早生種、扁平外皮濃紅色、肉質脆く淡黄  
卵圓扁平、黄白色にして皮薄く芽淺く調理用  
圓形にして外皮緻密暗黄褐色を呈し、肉淡黄  
細長顆粒味よく黄味あるルビー色  
肩張るもの深紅色、大顆なるも豊産ならず  
多産にして栽培に適す、丸型中粒

ではありませんが、種々の果實として  
春の園樂を賑やかすために作られて樂  
しみなものです。  
なほ品種としては次の様なもの、内  
から選ばれて良いと思ひます。  
以上のはかに西洋野菜として知られ  
た花椰菜、甜豆、甘藍、セリリーなど  
随分多數の種類があります。これ共  
等は種子も細く移植、採取まで種々  
専門的な煩雜な管理を必要とするのであ  
りますから、省くことにし専ら家庭園  
向の内地に順化した豊産で、且つ丈夫  
な種類を選びました。次に作り方の大  
略を述べることに致します。  
整地——日當り、風通しの良い場所を  
選び畝がスコップの類で畑一面耕すこ  
とです。その際草木の根、石礫は根の  
伸長を遮るから丁寧に取除きます。殊  
に排水の悪い土地であれば、高畦にす  
るに傾斜に畑を設けるに夫々適當  
な方法を採らねば良い効果を収めるこ  
とです。

要 摘  
す。要するにカッチリした苗を選び苗  
ミ苗が辛うじて相接する程度に止め  
あまり一度に澤山間引く後で病蟲害  
で倒れることが往々ありますから、急  
激にしない様に常に適當の間隔を保た  
しめます。家庭用ならば普通五、六寸  
位の隔たりで間引は中止します。  
肥料——葉菜は出来るならば、隔日に  
淡い人尿を與へるによろしいが、油  
粕でも米のトギ汁、鶏糞などを施すこ  
とで生育を助け品質も良くなり收量多  
く熟を十分に満足な成績を収める  
ことが出来るのであります。野菜は成  
長が早いだけ肥料の消費もそれが多い  
のですから出来るならば潤澤に施して  
ほしいのであります。  
害蟲——病蟲害もありますが、主に蟲害  
です。多くはアブラムシであります。  
これは石鹼二匁位を水に溶し露吹で灌  
注します。容易に死滅します。その他  
の蟲は家族の者が時々見廻りその都度  
捕殺することによつて造作なく害ら  
しい被害もなく退治されるものであり  
ます。  
收穫——馬鈴薯、豆類の採取は遅く來  
春まで待たねばなりません。大根、  
葉菜などは間引菜が最早利用され  
るのであり遅くは收穫を續けてゐるの  
であります。美濃早生大根の如きは二  
ヶ月で大きな大根が出来てゐるので  
それ以後は畑に長く残して置いても大  
して肥るものでもないから、かやうな  
種類は早速利用し、直に第二回、第三  
回を蒔くのが得策であります。ま  
た葉菜は年内で殆ど收穫されますから  
跡地は直に豆類とかシユンギク、蕪菁  
草等を蒔き付けて畑を休めない様に集  
約的に始終輪作することに心掛けねば  
なりません。  
秋の野菜は狭い畑でも利用によつて  
は驚くべき生産を収めることが出来る  
るのでありますから、生育期間の比較  
的に長い花物よりもズツと有意義な  
ものです。私が敢てお薦めするゆゑにま  
たこゝにあるのであります。なほ花の  
寄植などと同じ様に、お庭で採れた作  
物を美しい籠に盛りこの新鮮な籠盛を  
贈り物にするのも何んなにか床しく  
優しいものでせう。(をばり)